

# Infinity Tsukinoki

事務局：槻の木高校内 〒569-0075 高槻市城内町2-13 TEL072-675-2600



## 槻の木高校同窓会の設立8年目に思うこと

会長 西 真一郎

平成15年の開校から11年目、島上高校と高槻南高校の各同窓会を統合してスタートした槻の木高校同窓会「Infinity Tsukinoki」も設立から今年でもう8年目を迎えました。槻の木高校の同窓会員だけでも約2,000名の規模となっています。今、多くの同窓生が社会人として活躍しています。今後も次々と社会に貢献できる様々な人材を槻の木高校は生み出していきましょう。同窓生の社会に出てからの活躍が、

「槻の木教育」の成果を証明することになるのではないのでしょうか。

同窓生の多くみなさんは、槻の木の現在がどうなっているのかと気にかけていらっしゃるでしょう。私も槻の木の制服を街で目に見ると、今の槻の木生はどういう子たちなのだろうかと少々心配な面持ちで視線を注いでしまいます。しかし、学校を訪れるたびに、元気な声で「こんにちは！」という丁寧な挨拶を受けて、ホッと安心して帰って行くのです。これはきっと、先生方の優しくもまた厳しいご指導の賜物なのだろうと、在校中の先生方の凛とした姿勢が思い出されて、ひとしお懐かしさが増します。これからもずっとずっとこの校風が引き継がれ、常に進化し続ける学校であってほしい。目に輝きを、言葉にいたわりを、そして心に覇気をもった生徒を育てる学校であってほしいと願っています。

終わりに、島上高校・高槻南高校の諸先輩のみなさんと、槻の木高校の卒業生のみなさんのご健康と今後のご活躍を祈念して、同窓会総会にあたっての巻頭の挨拶といたします。

## 卒業生の皆様、お帰りなさい

校長 平野 裕一



本年度から松本秀範前校長の後任として、槻の木高校に着任いたしました校長の平野です。卒業生の皆様方には、社会や大学などさまざまな場面でご活躍のことと拝察いたします。また、本校の教育活動に対しまして、ご理解とご支援を賜り感謝申し上げます。

本校は昨年創立10周年を迎えました。この10年間は、「規範なくして学力向上なし」「受験は団体戦」「原石を宝石に」を合言葉に、職員と槻の木生とが一丸となって共に歩んできた道でありました。そして、現在、槻の木高校は、府立高校の中でも、進学を重視した単位制高校として、先進的な取り組みを積極的に行い、生徒の満足度の高い学校として、優れた評価を得ているものと自負しております。これまで築き上げてこられた基礎の上に、次の10年間を見据えて、授業力の質的向上や進学実績の更なる充実などを図り、同窓会の名前のおり無限(infinity)の可能性にチャレンジしていきたいと考えています。

さて、アメリカでは卒業生が母校に集まる日のことを、「HOME COMING DAY」と言うのだそうです。槻の木高校は、まさに「家庭に帰る日」のように卒業生の皆様にいつでも暖かくお迎えいたします。どうぞ、高校時代の思い出を持ち寄っていただき、槻の木高校にお立ち寄りください。

同窓会「Infinity Tsukinoki」役員一覧

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
会長	西 真一郎	西 真一郎	西 真一郎	西 真一郎	西 真一郎	西 真一郎	西 真一郎
副会長	吉田 蔵治	吉田 蔵治	吉田 蔵治	本岡 誠也	本岡 誠也	本岡 誠也	本岡 誠也
副会長	友田 尋子	友田 尋子	友田 尋子	東山 弥栄	東山 弥栄	東山 弥栄	東山 弥栄
書記	荒木 晴香	荒木 晴香	荒木 晴香	麻野なつき	麻野なつき	麻野なつき	麻野なつき
書記	梅田 綾子	梅田 綾子	梅田 綾子	荒木 晴香	荒木 晴香	荒木 晴香	荒木 晴香
会計	秋山 香澄	秋山 香澄	秋山 香澄	秋山 香澄	秋山 香澄	秋山 香澄	秋山 香澄
会計	麻野なつき	麻野なつき	麻野なつき	田中 伸弥	田中 伸弥	田中 伸弥	田中 伸弥
会計監査	藤川 春加	藤川 春加	藤川 春加	藤川 春加	藤川 春加	藤川 春加	藤川 春加
会計監査	本岡 誠也	本岡 誠也	本岡 誠也	梅田 綾子	梅田 綾子	梅田 綾子	梅田 綾子

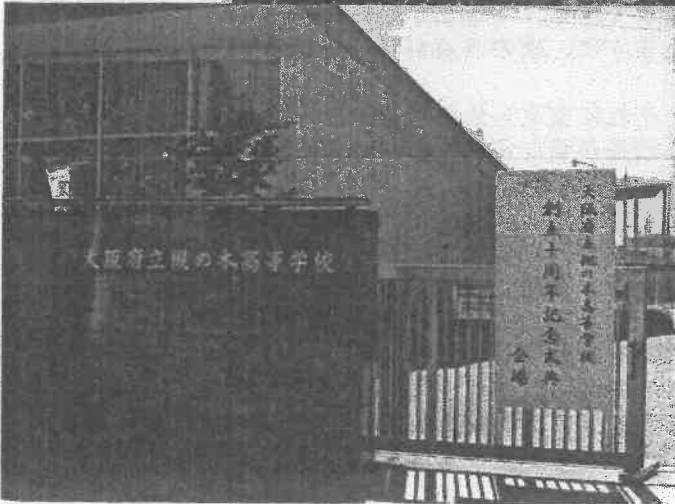
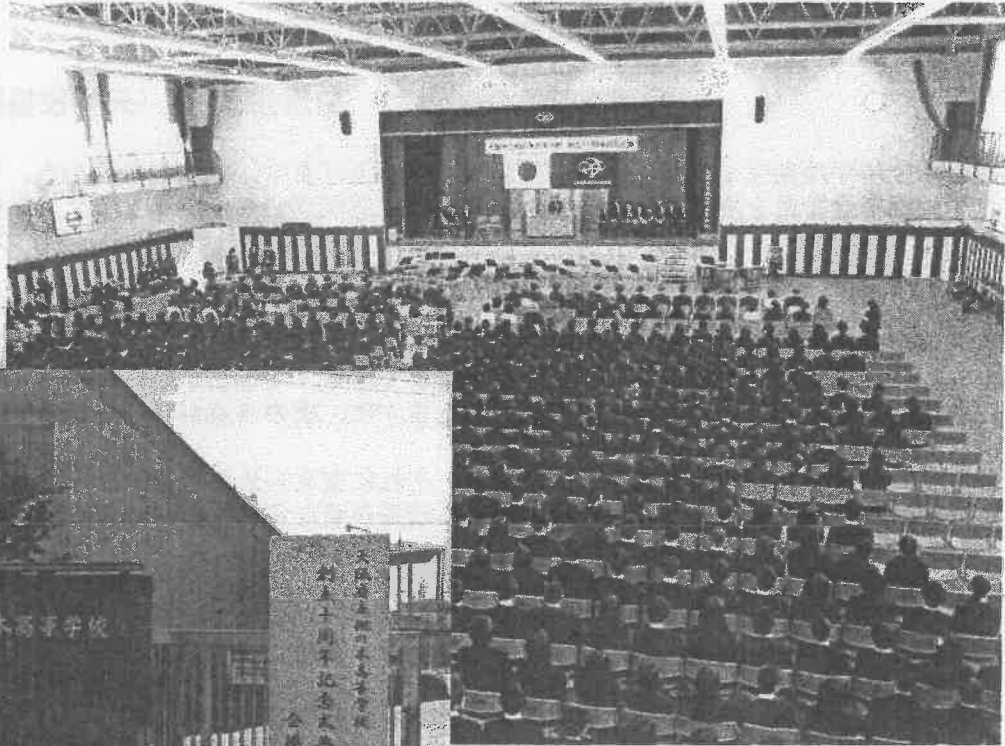
◆平成19年度～平成21年度の副会長  
 吉田蔵治氏は旧島上高校同窓会「嶋真会」の会長  
 (平成22年度より24年度まで本校同窓会島上支部長)  
 \*平成24年度途中より大前英世氏に引き継がれる  
 友田尋子氏は旧高槻南高校同窓会「槻の葉会」の会長  
 (平成23年度以降は本校同窓会高槻南支部長)

創立10周年記念式典・行事 平成24年10月13日(土) 挙行

創立10周年記念式典 次第	創立10周年記念行事 次第
開式の辞 国歌斉唱 学校長式辞 記念事業実行委員長挨拶 PTA会長 北浦 義己 来賓祝辞 大阪府教育委員会事務局 教育振興室長 津田 仁 様 高槻市長 濱田 剛史 様 兵庫教育大学長 加治佐哲也 様 来賓紹介 祝電披露 記念演奏 弦楽部・吹奏楽部 校歌合唱 生徒有志 御礼の言葉 生徒会長 閉式の辞 会場：本校体育館	開会のことば 記念講演会 「未来を拓く 君たちへ」 浪速生野病院心身医療科部長 前大阪府教育委員会委員長 生野 照子 先生 記念演奏会 ギタリスト (本校1期生) 猪居 謙 さん ピアニスト (本校1期生) 金子 剛 さん 閉会のことば 会場：高槻現代劇場 大ホール

右：式典進行中の会場(体育館)

下：式典当日の正門風景



◆会場(体育館)の椅子一式を  
PTA・後援会とともに寄贈

### 周年記念事業を終えて

同窓会副会長 本岡 誠也

周年記念式典という槻の木高校にとって大きな節目を終えて思ったことは、10周年はゴールではなく通過点ということです。私にとって10年という年月はとても長く、自分にとって大きく成長することができた時間でした。しかし、学校にしてみたら10年は序章であり、まだまだ若い学校の一つに入るのではないのでしょうか。歴史を積み重ねていくには、一日また一日と生活していくしか方法はありません。ただその中で、いろいろな人と出会い、繋がり、数多くの経験をして成長する。そうやって時間を過ごし、私たちは槻の木高校を卒業しました。記念式典に出席させていただき、いろいろな先生方の話を聞き、また思い出のスライドショーを見て、私はその集大成を肌で感じることができました。お話をしてくださった先生方や皆さんから、槻の木高校に対する熱い思いとこれからも槻の木高校の歴史を築いてほしいという願いを知りました。10年間槻の木高校と関わらせてもらい、槻の木高校は毎年毎年変化していっていると実感します。私が今までで一番驚いた変化は、チャイムが槻の木高校の校歌に変わっていたことです。私自身サッカー部と関わる機会が多く、生徒たちも校風によって変化していると感じています。私たち一期生はとても自由な生徒が多かったような気がします。今の槻の木生は規律を守りながら学校生活を楽しんで過ごしているように思います。きっとこれからも槻の木高校は進化し続けると思います。というよりも、進化し続けなければいけない。そうしなければ、日々変化する社会情勢や少子高齢化などの社会問題に対応することが出来ず、また、学校を未来に残すことができないと思っています。そのためには、槻の木高校の先生はもちろん、生徒、保護者、卒業生、地域の皆さんなど多くの人に関わり、そのみんなが槻の木高校を好きでいないといけないと思います。みんなから愛される槻の木高校であり、これから高槻を代表するような高校になっていってくれることを祈っています。

## 「榎の木高校創立10周年に寄せて」

兵庫教育大学学長 加治佐 哲也（元学校協議会委員）

榎の木高等学校創立10周年を心よりお祝い申し上げます。私は創設時から、平成21年度まで学校協議会委員を務めましたので、10周年に感慨深いものがあります。学校管理職養成を目的とする兵庫教育大学教職大学院学校経営コースの「優れた学校経営事例」の教材として、本校を活用させていただいてもおります。

本校は、大阪の多くの公立高校の中で希有な成功例の一つといえます。少子化の中にあって受験倍率が安定的に高いこと、生徒の学校生活への満足度が高いこと、大学進学実績が着実に向上し、生徒指導上の問題も少ないこと、保護者や地域、中学校からの評判がよいことなどがそれを示しています。その要因として私が考えますに、次の3点があげられます。

- ①校長の明確なビジョンと揺るぎない信念、それに支えられた優れたリーダーシップ。初代の河村校長が礎を築き、それを次いだ松本校長が更なる発展を求めて不断のイノベーションを行っていること。
- ②校長の学校経営ビジョンを効果的に実行できている、機動的な校内組織づくり。とくに首席や室長といったミドルリーダーに有能で意欲の高い教員を抜擢し、育成していること。
- ③このような学校を熱望していた地元の強い支持・期待。本校はそれまでの大阪の公立高校に満足していなかった高槻の市民のニーズをつかみ、それに応える学校づくりを行い、実績を残しました。地元の強い支持は学校改革を継続する力となっているのでしょうか。

大阪は前例のないような学校改革に乗り出しています。それは本校にとってむしろ「追い風」ではないでしょうか。榎の木高校が新しい経営環境の中でますます発展することを祈念しております。

## 「創業は易し守成は難し」

関西大学教授 芝井 敬司（学校協議会委員）

7世紀、中国の唐王朝は太宗李世民の時代に入り、貞観の治と呼ばれる太平の世が訪れ、天下大いに治まったといわれる。あるとき太宗は、「創業と守成と、いずれが難きか」と家臣に問うたところ、多くは創業の難しさを指摘したが、賢臣の魏徴は「昔から帝王は位を艱難の間に得て、これを安逸の間に失うものです」と答えた。困難が続く創業の方が大変なように思うが、実はその成果を受け継いで守り育てていくことの方が、むしろ難しいと言ったのである。

このたび榎の木高校は創立10周年の記念の年を迎え、今ちょうど艱難少くない創業の時代を過ぎて、それに続く守成の時代にさしかかっていると言えるだろう。新しい理念を掲げ、これまでにない本物の新しい府立高校を、ここ高槻に生み出したいと考えて、教員、生徒、保護者、地域住民が力をあわせ、数かずの困難を乗り越えてきたこの10年は、尊い教育実践のひとつとして大事にしてもらいたいと願っている。苦しいなかで立派な成果を挙げた創業の10年として、誇りに思ってもらいたい。

しかしながら一方で、「古より業を創めてこれを失うものは少なく、成るを守ってこれを失うもの多し」とは、人間の性情に通じた戒めでもある。人は、眼前の困難を何とか乗り越えるために、創意工夫し努力することを意図的に回避することは少ない。しかしもう大丈夫だとわかった途端に、無意識のうちに安逸に流れていく。

榎の木高校がもう一段の飛躍を果たすためには、「これまで」よりも、「これから」が問われる。いま一度、創業の志を確認し、改革の理念を引き継いで、急速にグローバル化が進行する世界の中で、しっかりと判断し主張し行動する人材を、高校教育を通じて熱く育成して欲しいと切望する。教員、生徒、保護者、卒業生、地域住民を含むすべての関係者が、今こそ覚悟と努力を問われている。

（平成24年10月13日発行 創立10周年記念誌「樗」より抜粋）

## 大阪府立槻の木高等学校 沿革

- 平成13(2001)年11月 大阪府立島上高等学校及び大阪府立高槻南高等学校が全日制府立高等学校特色づくり・再編整備第1期実施計画3年次実施対象校となる
- 平成14(2002)年12月 大阪府議会において設置条例が議決され、名称「大阪府立槻の木高等学校」になる
- 平成15(2003)年 1月 **大阪府立槻の木高等学校 設置(全日制・普通科・単位制)**  
**河村 繁 初代校長 着任**
- 4月 同校開校  
**開校式及び第1回入学式挙行(第1期生入学)**
- 5月 文部科学省「学力向上フロンティアハイスクール事業」研究校に指定される
- 9月 第1回体育大会 高槻芝生競技場  
第1回文化祭(一日開催 槻の木・体育館)
- 11月 校歌制定委員会 設置  
芸術鑑賞(高槻現代劇場 ミュージカル「ツバメ」)
- 平成16(2004)年 2月 校歌歌詞 公募
- 4月 第2回入学式挙行(第2期生入学)  
関西大学との連携協力を締結  
平安女学院大学との連携協力を締結
- 7月 3校(島上, 高槻南, 槻の木)合同球技大会 高槻南高校
- 7・8月 第1回オーストラリア語学研修(7/27~8/8 25名 トゥーンバ市)
- 8月 タイ ルン・アルン学園より交流生2名(8/23~9/11)
- 9月 図書室改修工事終了  
第2回体育大会  
第2回文化祭(二日間開催へ)
- 10月 1期生 修学旅行 オーストラリア
- 11月 芸術鑑賞(高槻現代劇場 演奏「舞太鼓」)  
大阪学院大学との連携協力を締結
- 12月 校歌歌詞 決定
- 平成17(2005)年 1月 学力向上フロンティアハイスクール事業 公開授業および研究協議会
- 2月 校歌曲 決定  
音楽棟竣工
- 3月 **大阪府立島上高等学校及び大阪府立高槻南高等学校の閉校に伴う引継式挙行**  
島上高校記念碑・たかなん広場完成  
正門改修工事終了  
オーストラリア トゥーンバ高等学校との姉妹校提携
- 4月 **松本秀範 第2代校長 着任**  
第3回入学式挙行(第3期生入学)  
0限25分1限以降45分授業 から 8時10分1限始業へ  
グラウンド全面改修工事終了
- 6月 第3回体育大会
- 9月 第3回文化祭  
オーストラリア トゥーンバ高校より交流生15名(9/11~9/22)
- 11月 芸術鑑賞(高槻現代劇場 演劇「百婆」)  
2期生 修学旅行 オーストラリア
- 平成18(2006)年 1月 タイ研修旅行(1/5~1/8 6名 ルン・アルン学園)
- 3月 第1回卒業式挙行(第1期生卒業)
- 4月 第4回入学式挙行(第4期生入学)  
タイ ルン・アルン学園より交流生1名(4/8~5/2)
- 6月 第4回体育大会

## 大阪府立槻の木高等学校 沿革

7月	第2回オーストラリア語学研修 (7/26~8/9 18名 トゥーンバ市) チャイムをオルゴール風の校歌メロディーに変更
9月	第4回文化祭
10月	SITS出欠入力システム稼働
11月	芸術鑑賞(高槻現代劇場 ミュージカル「パートタイムハイスクール」)
12月	3期生 修学旅行 オーストラリア
平成19(2007)年 3月	第2回卒業式挙行(第2期生卒業) 大阪大学公開講座に関する協定書締結
4月	第5回入学式挙行(第5期生入学)
5月	保護者向け携帯メールマガジンサービス開始
6月	第5回体育大会 大阪府教育委員視察
7月	タイ研修旅行(7/22~7/30 10名 ルン・アルン学園)
8月	韓国研修旅行(8/24~8/27 7名) 韓国 中央大学校師範大学附属高等学校と姉妹提携
9月	第5回文化祭 オーストラリア トゥーンバ高校より交流生24名(9/9~9/24)
10月	平成19年度前期卒業式挙行 韓国中央大学校師範大学附属高等学校より交流生7名(10/19~10/22) 大阪府学校教育審議会視察
11月	芸術鑑賞(高槻現代劇場 演奏「舞太鼓」) 体育館外壁にAED設置
12月	4期生 修学旅行 オーストラリア
平成20(2008)年 3月	第3回卒業式挙行(第3期生卒業)
4月	第6回入学式挙行(第6期生入学) 生徒手帳「メビウスノート」発刊 タイ ルン・アルン学園との姉妹校締結
5月	タイ ルン・アルン学園より交流生1名(4/8~5/4) 新館エレベーター設置工事開始(9月まで)
6月	第6回体育大会 関西大学との「高大接続パイロット校推薦入学制度」覚書を締結
7月	第3回オーストラリア語学研修(7/31~8/12 15名 トゥーンバ市)
8月	韓国研修旅行(8/21~8/24 8名参加)
9月	第6回文化祭
10月	平成20年度前期卒業式挙行 韓国中央大学校師範大学附属高等学校より交流生8名(10/17~10/20)
11月	芸術鑑賞(高槻現代劇場 ミュージカル「天草四郎」)
12月	5期生 修学旅行 オーストラリア
平成21(2009)年 3月	第4回卒業式挙行(第4期生卒業) 大阪府教育委員会優秀教職員表彰、団体(学校)受賞
4月	第7回入学式挙行(第7期生入学) 制服儀式用ネクタイ モデルチェンジ
5月	新型インフルエンザ流行により1週間の休校
6月	第7回体育大会
9月	第7回文化祭 大阪府教育委員会中西教育長視察
10月	芸術鑑賞(高槻現代劇場 中国雑技「京劇・雑技・川劇・獅子舞」) オーストラリア トゥーンバ市代表団訪問
11月	第1回同窓会総会にて同窓会名称「Infinity Tsukinoki」を承認
12月	6期生 修学旅行 沖縄県宮古島

## 大阪府立槻の木高等学校 沿革

平成22(2010)年	3月	第5回卒業式举行(第5期生卒業)
	4月	第8回入学式举行(第8期生入学) タイ ルン・アルン学園より交流生2名(4/8~5/4)
	6月	第8回体育大会 ICT校内ネットワーク運用開始
	7月	大阪府スクーラーサポートプラン「集中支援事業」支援校 食堂改修
	8月	韓国研修旅行(8/26~8/29 11名)
	9月	第8回文化祭 オーストラリア トゥーンバ高校より交流生15名(9/5~9/18)
	10月	芸術鑑賞(高槻現代劇場 演劇「ハムレット」) 韓国中央大学校師範大学附属高等学校より交流生14名(10/29~11/1)
	12月	7期生 修学旅行 沖縄県宮古島
平成23(2011)年	3月	第6回卒業式举行(第6期生卒業)
	4月	第9回入学式举行(第9期生入学) 大阪府教育委員会「使える英語プロジェクト事業」研究校に指定(3年間) 「EUがあなたの学校にやってくる」駐日スペイン臨時代理大使来校
	6月	第9回体育大会 大阪府橋下知事視察 耐震大規模改修工事開始(新館 10月末まで)
	7月	1、2年夏期講習 高槻第一中学校を借りて実施
	9月	第9回文化祭 大阪府「がんばった学校支援事業」指定校 芸術鑑賞(長岡京記念文化会館 「京都フィルハーモニー室内合奏団」)
	12月	8期生 修学旅行 沖縄県宮古島
平成24(2012)年	3月	第7回卒業式举行(第7期生卒業)
	4月	第10回入学式举行(第10期生入学)
	6月	第10回体育大会
	7月	第4回オーストラリア語学研修(7/28~8/6 16名 トゥーンバ市)
	8月	韓国研修旅行(8/26~8/29 11名)
	9月	第10回文化祭
	10月	<b>創立10周年記念式典・行事举行(10/13)</b> 韓国中央大学校師範大学附属高等学校より交流生12名(10/26~10/29)
	12月	9期生 修学旅行 沖縄県宮古島 タイ研修旅行(12/23~12/28 5名 ルン・アルン学園)
平成25(2013)年	3月	第8回卒業式举行(第8期生卒業)
	4月	<b>平野裕一 第3代校長 着任</b> 第11回入学式举行(第11期生入学) タイ・ルンアルン学園より交流生2名(4/7~4/27) 大阪府教育委員会中原教育長視察
	5月	大阪府「学校経営推進費」支援校
	6月	平成25年度「診断支援チーム」事業指定校 第11回体育大会 耐震大規模改修工事開始(体育館 9月末まで)
	7月	10期生 修学旅行 北海道夕張方面
	8月	韓国研修旅行(8/23~8/26 6名)
	9月	第11回文化祭 芸術鑑賞(高槻現代劇場 演劇「ヘレン・ケラー」)
	12月	大阪府教育委員会 井上貴弘教育委員視察・講演

## 会計報告(平成22年度～平成25年度)

同窓会会計 収支報告 (22～24年度)				(単位:円)
年度	項目	収入	支出	差引
22	21年度からの繰越金	11,194,581		11,194,581
	22年度会費収入	1,632,000		12,826,581
	22年度二十歳の集い参加費 及び6期生学年費精算残金	261,068		13,087,649
	4期二十歳の集い経費		131,838	12,955,811
23	23年度会費収入	1,428,000		14,383,811
	23年度二十歳の集い参加費等	365,205		14,749,016
	5期二十歳の集い経費 (宴会パック)		380,000	14,369,016
	5期二十歳の集い経費 (部屋使用料他雑費)		65,745	14,303,271
	事務費(同窓会印作成)		10,710	14,292,561
24	24年度会費収入	1,416,000		15,708,561
	24年度二十歳の集い参加費	417,000		16,125,561
	6期二十歳の集い経費 (宴会パック)		360,000	15,765,561
	6期二十歳の集い経費 (部屋使用料他雑費)		63,987	15,701,574
	創立10周年記念事業分担金		7,000,000	8,701,574
	事務費(封筒印刷)		28,350	8,673,224
	25年度へ繰越		8,673,224	0

※ 平成25年11月28日に3ヵ年分の監査を受けています。